
INITIAL T

露露

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

INITIAL

【Zマーク】

N1496E

【作者名】

露露

【あらすじ】

ある少年の孤独な戦い。超短編。

その日は突然やつてくる。

朝から感じていたなんとも形容のし難い、それは直感といつて一文字でしか説明のつかない嫌な予感だ。

願わくばこのまま気のせいだったと一日を終える事ができたらどんなに僕は救われるだろう。

無理だと分かつてはいても。

目の前に現れたそれを、僕はしばらく息を殺して凝視する。やはり、僕はそいつの何かを捉えていたのだ。予感は的中した。脂汗が噴出すほどの異変にも、周囲の人間は気が付かない。あちらこちらで楽しげな笑い声だけが耳に届いた。

(羨ましい・・・・・)

僕はどうしてもそう思われるを得ない。そうだ、気が付かなければいい。そうすればこんなにも苦しまなくて済むのだ。

相変わらずこちらを嘲笑うかの様に、それはそこにいた。僕はかすかに息を吐き出す。とにかく、冷静にならなければ。

今にもはじけて狂いそうな意識に必死で働きかけて、僕は再度それに鋭く視線をぶつけた。

(負ける、ものか!)

いつからなのかは分からない。物心ついた頃にはそれが僕の意識に強烈に侵入してきていた。僕は気持ち悪くなつて体の中のものを全て吐き出したのだった。そして、逃げた。その手の届かぬ所まで

で。

それは一体どう形容していいのか少し困る。

色は無色。いや、白かもしれない。大きさは不揃いで、巨大なやつもいれば小さくなつて僕の隙をまんまと狙うやつもある。

そうして気付かずにその侵入を許してしまうと最悪だ。すぐさま僕の体は無意識にそれの排除を実行する。

今でこそそんな失敗は犯さなくなつたが、僕が始めてこの力のもてる限りそれと闘つた時、とても言葉では表現し切れないほど壮絶極まりなかつた。正直、死ぬかとさえ思ったのだ。

そして僕は当然ともいえる疑問にぶち当たる。

これは、僕だけなのか、と。

それを見分けてしまう力が他の奴らにはないと分かるまであまり時間はかからなかつた。

この恐ろしい存在を、どれだけの人に訴えて回つただろう?とにかく僕は必死だつた。

そんな嘘をつくなど怒鳴られもした。お前はどうかしていると嘲笑われもした。

それでも。

(甘い希望だ・・・・・)

それがもしかしたら人間という生き物の正常な反応なのかもしない。

僕は思う。それだから人は幸せでいられるのかもしない、とも。そいつらのことはもう言うべきではないのだと悟つたのもその時だ。わざわざこうして騒ぎ立てて、人々の安穏な日々を搔き乱すこともない。僕が、静かに闘えば済む話だ。

一人で闘つていくのだと、心に強く誓つた。それが使命であると。神から選ばれた人間であると自分のこの力に意味を持たせて。

僕は田の前にひじりやひじりと姿をさらす無色透明なそれを見据えた。歯を噛み締めてビリビリしようとなく込み上げる吐き気を抑制したままで、僕はどうどうそれに手を伸ばした。

周囲に気付かれて騒ぎが起こればやっかいであることは重々承知している。素早く、確実に排除してしまわなければ。

僕はまず、そつとそれを近くの角に誘導する。数が多いこと必要以上に神経を使い、たらり、と冷たい汗が首筋を伝つた。思った以上に時間がかかる。

ひらひらと周囲を気にし過ぎたのが僕にはあり得ない失敗だった。最後の奴を誘導しようと手をかけた時だった。

「あーーーくんまたまたまねぎ残してーーー」
「つーーー」

}
F
I
N
{

(後書き)

シヨーツシヨーツでした。
何となく・・・・すみません(笑)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1496e/>

INITIAL T

2010年10月11日07時56分発行